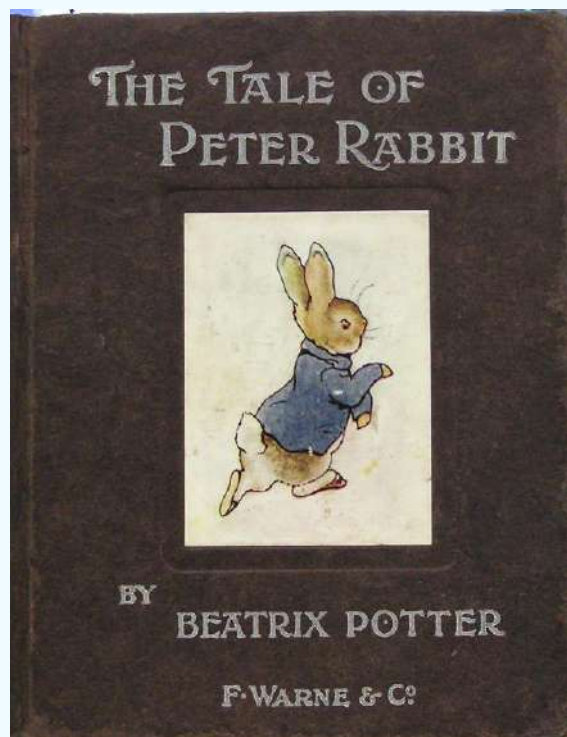


聖徳大学創立30周年・聖徳大学短期大学部創立55周年記念

聖徳大学収蔵名品展

-ピーターラビット™ コレクション-

PETER RABBIT™ Collection



ドール作家 R・ジョン・ライト作 ピーターラビット™ のぬいぐるみ

『ピーターラビットのおはなし』初版本(1902 年発行)

ご あ い さ つ

聖徳学園は、1933(昭和 8)年、東京市大森区(現 東京都大田区)に、聖徳家政学院と新井宿幼稚園を開設し、以来一貫して幼児教育、女性教育を中心とした教育に力を注いでまいりました。現在は、幼稚園から大学院に至るまで18の教育機関を擁する総合学園として展開しております。

1965(昭和 40)年、千葉県松戸の地に聖徳学園短期大学(現 聖徳大学短期大学部)を、1990(平成 2)年には聖徳大学をそれぞれ創設しました。本年(2020 年)は、大学創立 30 周年、短期大学部創立 55 周年の節目にあたります。

これらを記念して、本学園が収蔵する学術資料の中から、世界中の子どもたちから愛されているピーターラビット™ とその仲間たちの資料を公開します。

刊行から 100 年以上たった今でもなお世界中で読み継がれている『ピーターラビットのおはなし』は、作者であるビアトリクス・ポター™ が友人の息子である 5 歳の少年にあてて書いた絵手紙をもとにして生まれた物語です。1901 年に 250 部が自費出版(私家版)され、翌年、出版社から刊行されると大人気を博しました。その後続々と新作が発表され、現在ではシリーズの累計発行部数が全世界で 2 億 5,000 万部を超えるベストセラーとなっています。

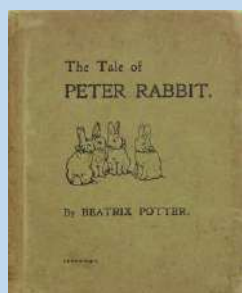
本展覧会では『ピーターラビットのおはなし』の自費出版本をはじめ、シリーズ全 23 作品の初版本をすべて公開します。また、ピーターラビットとその仲間たちをモチーフにしたフィギュア、ドール、食器等関連グッズも数多く展示し、可愛い動物たちの世界へと誘います。ぜひお楽しみください。

令和2年2月25日

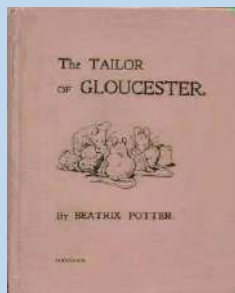
学校法人東京聖徳学園理事長
聖 徳 大 学 学 長
聖 徳 大 学 短 期 大 学 部 学 長
学 園 長 川 並 弘 純

ピーターラビット™ とその仲間たち 23のおはなし(初版本コレクション)

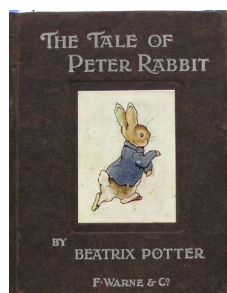
【自費出版本】



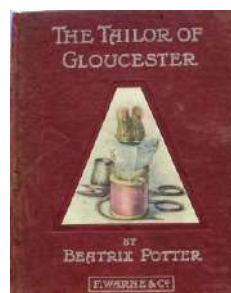
ピーターラビットのおはなし (1902 年)



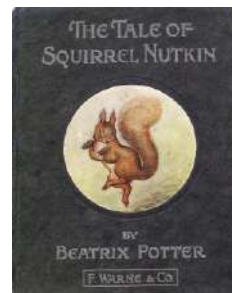
グロースターの仕立て屋 (1902 年)



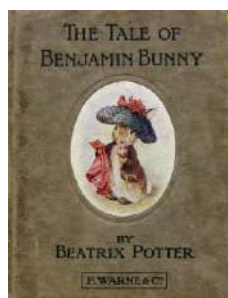
ピーターラビットのおはなし (1902 年)



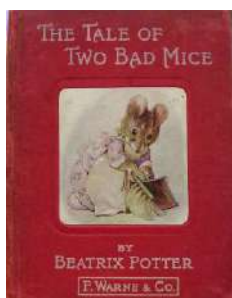
グロースターの仕立て屋 (1903 年)



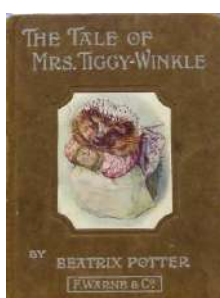
リスのナトキンのおはなし (1903 年)



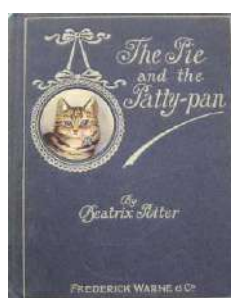
ベンジャミン・バニーのおはなし (1904 年)



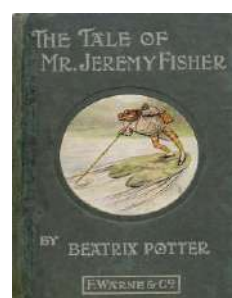
2 ひきのわるいねずみのおはなし (1904 年)



ティギーおばさんのおはなし (1905 年)



パイがふたつあったおはなし (1905 年)



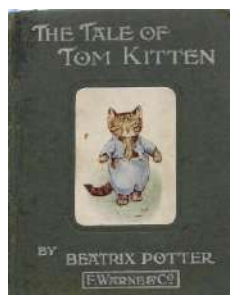
ジェレミー・フィッシャーのおはなし (1906 年)



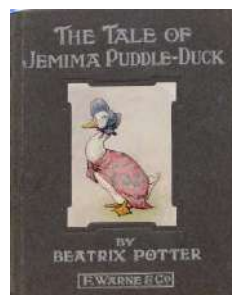
モペットちゃんのおはなし (1906 年)



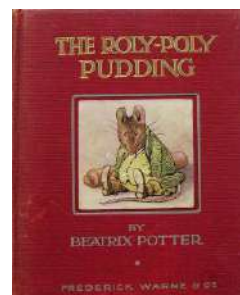
こわいわるいうさぎのおはなし (1906 年)



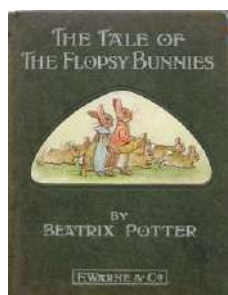
こねこのトムのおはなし (1907 年)



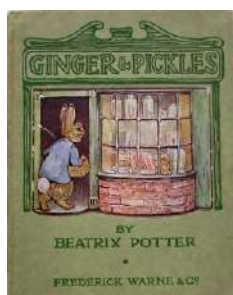
あひるのジマイマのおはなし (1908 年)



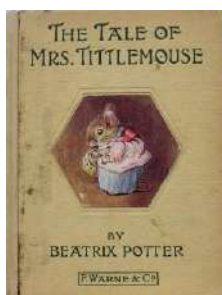
ひげのサムエルのおはなし (1908 年)



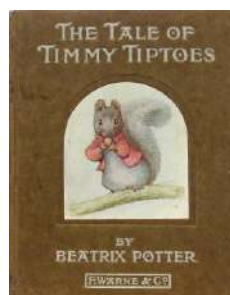
フロプシーのこどもたち (1909 年)



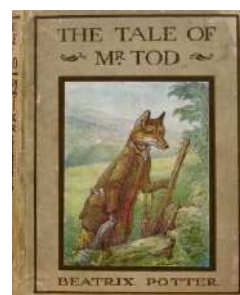
「ジンジャーとピクルズや」のおはなし (1909 年)



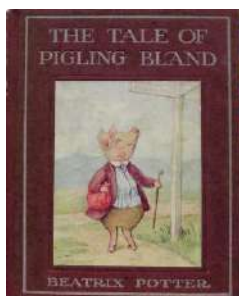
のねずみチュウチュウおくさんのおはなし (1910 年)



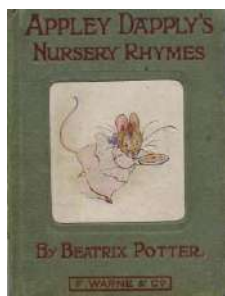
カルアシ・チミーのおはなし (1911 年)



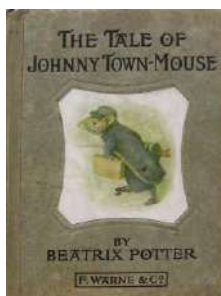
キツネどんのおはなし (1912 年)



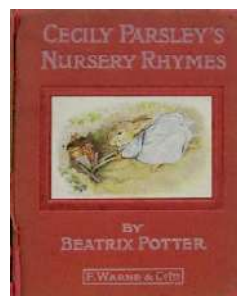
こぶたのピグリン・ブランドのおはなし (1913 年)



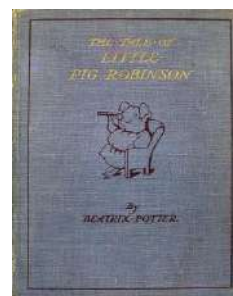
アプリー・ダブリーのわらべうた (1917 年)



まねねずみジョニーのおはなし (1918 年)



セシリ・パセリのわらべうた (1922 年)



こぶたのロビンソンのおはなし (1930 年)

[ピーターラビット™ 関連グッズ]



ドール作家 R・ジョン・ライトによるピーターラビット™ のぬいぐるみ



ロイヤル・ドルトン社製フィギュア



←食器コレクション

✓エナメルボックス

↓チェスセット



自然環境保護の先駆者 ビアトリクス・ポターTM Beatrix PotterTM (イギリス 1866ー1943)

ピーターラビットTMの生みの親として知られるイギリスの絵本作家ビアトリクス・ポターTMは、1866年7月28日に裕福な中流階級の娘としてロンドンで生まれました。年に数回、ポター家はスコットランドや湖水地方へ避暑に出かけるのを常としていました。それは堅苦しいロンドンの生活から離れ、田園生活の中で自然を愛し、観察することを覚えるよい機会となりました。やがて自然物・動物をスケッチするようになり、同時にそれが物語を紡ぎだす想像力を育てていったのです。

1893年、元家庭教師の息子に綴ったウサギを主人公にした絵手紙が、子供たちに大好評だったという知らせを受けたポターは、絵本というスタイルで出版する事を考え始めました。1901年、『ピーターラビットのおはなし』を自費で出版。さらに翌1902年には、フレデリック・ウォーン社から、挿絵をカラーで描き直して出版。この時の初版本8,000部は発売前の予約だけで完売し、クリスマス用に2万部増刷するほどの人気になりました。その後、『グロースターの仕立て屋』、『りすのナトキンのおはなし』など次々と絵本を出版し人気を博しました。

1905年7月に編集者のノーマン・ウォーンと婚約しますが、ウォーンはその1ヵ月後に急死しました。悲しみから立ち直るため、湖水地方のニア・ソーリー村にあるヒル・トップ農場を入手、喪失感を埋めるかのように農場での仕事に打ち込みました。その後も、絵本の印税で少しずつ土地を買い足して、農場経営に非凡な才能を発揮します。一方、ハードウィック種牧羊協会の会長になり羊の血統保護に力を注ぐなど、自然を愛し環境の保護を続けました。ナショナル・トラストの設立者の一人であるローンズリー牧師とは、16歳で初めて湖水地方を訪れて以来の親交がありました。ポター自身もその活動を強く支持し、機会があるたびに寄付を続けていました。農場経営や自然保護活動に力を注いでいましたが、1943年12月に77歳の生涯を閉じました。

遺言によって土地の大部分はナショナル・トラストに寄付されました。湖水地方を開発から守り、愛してきた風景は今もそのままに残されています。世界中から湖水地方を訪れるポターのファンは、150年以上経た今でも、当時の暮らしぶりを体感することができるのです。

令和2年2月25日(火)～8月29日(土)

午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

聖徳大学1号館8階 聖徳博物館

JR常磐線、新京成線とも松戸駅下車 東口より徒歩5分

(学内に駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。)